

# ヒナラン ラン科

*Amitostigma gracile* (Blume) Schltr.

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：絶滅危惧IB類(EN)



若桜町 2010.7.7/撮影：矢田貝繁明

■**選定理由**：県内では山地のやや乾いた崖壁にわずかに分布，確認個体数も少ない。過去に多く園芸用採取されたため激減してきた。

■**特徴**：山地のやや乾いた崖壁の岩棚などに生育する小形のラン科草本。葉は長さ5-7 cm，幅1.5 cmの狭長楕円形で基部に1個つく。花期は6月下旬-7月上旬。淡紅紫色の小花を5-15個を総状につける。容易に近づけない岩崖にのみ残る。

■**分布** 県内：若桜町，琴浦町，日野町。県外：本州（関東以西），四国，九州。

■**保護上の留意点**：大規模な岩崖に生育するため，環境変化は少ないと思われるが，嚴重な採取防止が重要。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：—

執筆者：矢田貝繁明